

主な取組② 溝口駅周辺地区の整備

■現状と課題

- JR 武蔵溝ノ口駅と東急溝の口駅を接続する南口ペDESTリアンデッキが2009年12月に完成し、駅南北の回遊性・利便性の向上が図られ、賑わいのある地域生活拠点が形成されてきました。
- その中で溝口駅南口については、都市計画道路や交通広場が未整備の状況にあり、駅へ集中するバス交通の適切な誘導を図るなど交通結節機能の強化、駅周辺の放置自転車対策など地域課題への対応が必要となっています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 溝口駅南口広場の整備を推進し、あわせて、公有地を活用した駐輪場の整備を行うことにより、交通結節機能の強化、利便性の向上を図ります。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
溝口駅南口広場整備事業 溝口駅の交通結節機能の強化や利便性向上などを図るため、南口広場の整備を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●用地取得 ●ペDESTリアンデッキの整備完成 	<ul style="list-style-type: none"> ●駐輪場の詳細設計・整備着手 ●南口広場の詳細設計・整備着手 	整備完了

主な取組③ 宮前平・鷺沼駅周辺地区の整備

■現状と課題

- 宮前平・鷺沼駅周辺地区においては、土地区画整理事業等により道路や交通広場などが整備され、良好な住宅地が形成されていますが、今後も地域生活拠点としての魅力や活力あるまちづくりが必要となっています。
- こうした中、2011年4月には鷺沼駅（仮称）北口改札の開設が予定され、駅利用者の利便性が向上する一方で、駅前広場周辺の利用者の状況も変化することが想定されることから、こうした変化に応じた取組が求められています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 2011年4月の鷺沼駅（仮称）北口改札の開設にあわせ、歩道の供用とともに既存駐輪場の移設・整備を進め、利便性及び安全性の向上に向けたまちづくりを推進します。また、駅利用者の流れの変化を把握するための実態調査・検討を行い、駅周辺の交通環境改善に向けた取組を推進します。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
鷺沼駅周辺まちづくり調査事業 交通広場などの駅周辺の交通環境の向上に向けた検討などを進め、拠点地区の魅力の増進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●鷺沼駅周辺交通環境等の調査・検討 ●（仮称）北口改札の整備促進（2010年3月着工） ●（仮称）北口改札の整備にあわせた既存駐輪場の移設及び前面道路の歩道整備（2010年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ●鷺沼駅周辺交通環境等の調査・検討 ●駅周辺の交通環境改善に向けた取組の推進 ●（仮称）北口改札の開設（2011年4月） 	取組の推進

主な取組④ 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の整備

■現状と課題

- 登戸駅周辺地区においては、土地区画整理事業が進められていますが、建物の老朽化が進んでいる中で、事業認可から20年以上が経過し、事業の早期完成に向けた取組が必要となっています。
- 向ヶ丘遊園駅周辺地区においては、駅周辺の円滑な移動経路の確保とともに、鉄道による地域分断の解消が求められています。また、生田緑地など周辺地域と連携を図るなど、魅力にあふれた拠点形成の推進が必要となっています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 登戸土地区画整理事業については、早期の整備効果の発現に向け、駅周辺や主要幹線道路へのアクセス動線である都市計画道路（登戸1、2、3号線）の整備を重点的に推進します。
- 早期の工事概成に向け、建築物の共同化や街区単位の集団移転等の手法を活用した事業計画の検討を進めます。
- 向ヶ丘遊園駅の連絡通路を整備し、バリアフリー化や利便性の向上を図るとともに、生田緑地や2011年秋に開館する藤子・F・不二雄ミュージアム等の周辺の地域資源と連携し、利便性の向上などに向けた取組により、魅力にあふれた拠点形成を推進します。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
登戸地区土地区画整理事業 安全で快適な市街地の整備を推進し、魅力と活力にあふれた市北部の拠点地区の形成を推進します。	●都市計画道路等周辺など整備効果の高い地区の重点的整備	●駅周辺や都市計画道路など整備効果の高い地区の重点的整備 ●早期の工事概成に向けた事業計画の検討	事業推進
向ヶ丘遊園駅自由通路等整備事業 自由通路等の整備により、駅周辺の円滑な移動経路を確保し、回遊性の向上と地域の活性化を推進します。	●向ヶ丘遊園駅連絡通路実施設計	●向ヶ丘遊園駅連絡通路整備	事業推進

【基本施策 V-6-(1)】 広域的な交通幹線網の整備

主な取組① 広域幹線道路網の整備

■現状と課題

- 首都圏では、圏域全体の経済活動を支え、都市機能を強化する広域的な交通機能としての高速道路ネットワークの構築に向けた取組が進められています。
- こうした中で、首都圏における本市の位置や役割から、環状方向の高速道路ネットワークの一翼を担うとともに、本市の臨海部から内陸部へと至る縦軸方向の交通需要に対応する川崎縦貫道路の整備の促進が求められています。
- 2010年度に殿町から大師ジャンクション間の開通を予定しており、引き続きネットワークの強化に向けた取組が求められています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 川崎縦貫道路Ⅰ期事業については、高速部が開通する殿町から大師ジャンクション間の関連工事等を2012年度完成に向けて、取組を促進します。また、残る大師ジャンクションから国道15号間の高速部の工事着手に向けた取組とともに、工事着手までの当面の措置として、国道409号の街路先行整備等を促進します。
- 川崎縦貫道路Ⅱ期計画(国道15号～東名高速道路方面)については、今後の社会経済情勢や、高速道路ネットワーク構築の動向等を見定めながら、ルート、構造、整備効果等について幅広く検討を進め、早期具体化に向けた取組を進めます。

■主な事業

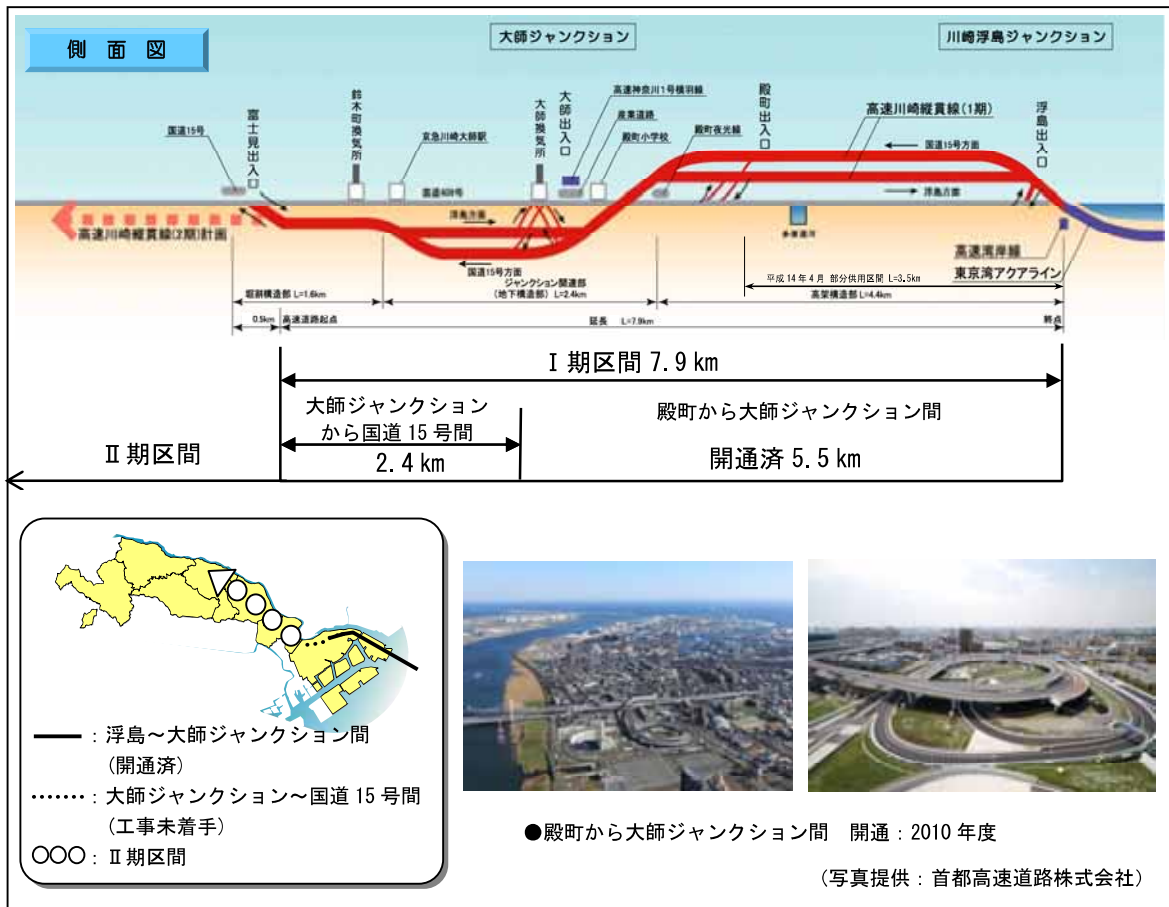
事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
川崎縦貫道路の整備 本市の都市機能強化に向けた川崎縦貫道路の整備を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●大師ジャンクション(横浜方向出入口)部分開通(2008年度) ●殿町～大師ジャンクション間開通(2010年度) ●国道409号(大師ジャンクション～国道15号間)の街路先行整備等の促進 ●Ⅱ期計画の早期具体化に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●Ⅰ期事業の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ①高速部(殿町～大師ジャンクション間)における関連工事等の完了(2012年度) ②国道409号(大師ジャンクション～国道15号間)の街路先行整備等の促進 ●Ⅱ期計画の早期具体化に向けた取組の推進 	事業促進

首都圏の拠点間の連携等の強化を図る基幹的な放射・環状方向の高速道路ネットワークの構築

『3環状9放射ネットワーク構想』



川崎縦貫道路の整備



主な取組② 広域公共交通機関網の整備

■現状と課題

- 少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化などから、交通の目的や手段の構成なども変わってきており、交通を取り巻く環境に変化が生じています。こうした交通環境の変化等に適切に対応するため、将来の都市活動や経済活動なども視野に入れた総合的な交通体系の構築が求められています。
- 首都圏における交通の円滑な処理や都市機能の向上、さらには、自動車交通への過度の依存から鉄道などの公共交通機関への転換を促進するため、質の高い公共交通機関網の整備が必要となっています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 交通環境の変化等を踏まえ、将来における交通需要や総合的な交通体系に関する課題等の把握・検討を行い、総合都市交通計画の策定に向けた取組を進めます。
- 首都圏における広域鉄道ネットワーク及び市域の基幹的な広域交通幹線網の一環として、市内交通の円滑化と市民の利便性の向上に資する川崎縦貫鉄道については、「新技術による川崎縦貫鉄道整備推進検討委員会」を通じ、現計画の検証や新技術の導入検討など、幅広い視点で事業推進に向けた検討を行い、その提言を踏まえて、事業化に向けた取組を進めます。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
総合的な交通体系調査事業 川崎市がめざすべき総合都市交通体系構築に向け、計画を策定します。	●川崎市総合都市交通計画の検討	●川崎市総合都市交通計画の検討・策定	
川崎縦貫鉄道整備推進事業 川崎縦貫鉄道の事業化に向けた取組を推進します。	●整備推進に向けた検討・調査	●「新技術による川崎縦貫鉄道整備推進検討委員会」からの提言を踏まえて、事業化に向けた取組の推進	事業推進

【基本施策 V-6-(2)】市域の交通幹線網の整備

主な取組① 幹線道路網の整備

■現状と課題

- 都市拠点を支える幹線道路網の整備や、渋滞交差点の重点的な整備など、課題を的確にとらえた取組により、早期にその効果を発現する計画的な整備が必要です。
- 市内交通の円滑化や市民の利便性向上を図る幹線道路網の機能強化が求められているとともに、本市の自動車交通は、約7割が市外に関連することから、周辺都市の状況を踏まえた幹線道路の整備が必要となっています。
- また、小杉駅周辺など、拠点における駅前広場の整備にあわせて、駅への交通流動に対する適切な誘導とともに、利便性の向上が必要です。
- 市域を縦断するJR南武線や東京から放射状に伸びる鉄道網が整備されており、幹線道路などにおける踏切遮断による交通渋滞等が生じることから、踏切の除却や交通の円滑化への対策、歩行者などの安全確保が求められています。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 市北部の市内交通の円滑化として、世田谷町田線や尻手黒川線などの整備、市外に関連する幹線道路として、周辺都市の整備状況を踏まえ宮内新横浜線などの整備を重点的に取り組み、早期効果発現に向けた整備を推進します。
- 小杉駅周辺地区については、駅周辺における商業・業務・都市型住宅などの拠点整備に関連し、駅への適切な交通誘導と利便性の向上を図るため、国道409号や東京丸子横浜線などの整備を進めます。
- 踏切による交通渋滞や周辺環境への影響などを改善するため、京急大師線の連続立体交差事業を推進し、段階的整備区間（東門前駅から小島新田駅間）の整備については、2013年度に産業道路の立体交差化に向け整備を進めます。また、鈴木町駅から東門前駅間の整備に向けた取組を推進します。
- JR南武線の尻手駅から武蔵小杉駅間の連続立体交差事業の事業実施に向けた調査や関係機関との調整を進めます。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
道路改良事業(国県道) 都市活動を支える都市基盤としての国県道の整備を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●国道・県道の道路改良事業の推進 ①整備完了 <ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道世田谷町田(高石)(2010年度) ・横浜生田(菅生)(2010年度) ・国道409号(二子)(2010年度) ②整備着手 <ul style="list-style-type: none"> ・国道409号(小杉) ・主要地方道川崎府中(長尾) ③整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・国道409号(市ノ坪) ・主要地方道(川崎府中(枅形・生田)、横浜生田(東三田)、横浜上麻生(下麻生)) ・一般県道(扇町川崎停車場(南渡田)、稲城読売ランド前停車場(細山)、上麻生連光寺(片平)) 	<ul style="list-style-type: none"> ●国道・県道の道路改良事業の推進 ①整備完了 <ul style="list-style-type: none"> ・一般県道扇町川崎停車場(南渡田)(2011年度) ・一般県道稲城読売ランド前停車場(細山)(2011年度) ・主要地方道川崎府中(長尾)(2011年度) ・一般県道上麻生連光寺(片平)(2012年度) ②整備着手 <ul style="list-style-type: none"> ・国道409号(小杉御殿町) ③整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・国道409号(市ノ坪、小杉) ・主要地方道(川崎府中(枅形・生田)、横浜生田(東三田)、横浜上麻生(下麻生)) 	整備推進

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
街路整備事業 都市活動を支える都市基盤としての都市計画道路の整備を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●都市計画道路整備の推進 ①整備完了 <ul style="list-style-type: none"> ・向ヶ丘遊園駅菅生線(東生田)(2009年度) ・鹿島田菅線(多摩)(2010年度) ・尻手黒川線(Ⅲ期)(2010年度) ②整備着手 <ul style="list-style-type: none"> ・宮内新横浜線(宮内)及び関連道路(国道409号、幸多摩線) ・菅早野線(下麻生) ③整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・東京丸子横浜線(市ノ坪) ・尻手黒川線(Ⅳ期) ・世田谷町田線(登戸、万福寺、片平、上麻生) ・宮内新横浜線(子母口) 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市計画道路整備の推進 ①整備完了 <ul style="list-style-type: none"> ・向ヶ丘遊園駅菅生線(白井坂)(2011年度) ・菅早野線(白山)(2012年度) ・世田谷町田線(万福寺)(2012年度) ・東京丸子横浜線(木月)(2012年度) ・宮内新横浜線(子母口)(2012年度) ・荻宿小田中線(Ⅰ期)(2013年度) ②整備着手 <ul style="list-style-type: none"> ・溝ノ口線 ③整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・宮内新横浜線(宮内)及び関連道路(国道409号、幸多摩線) ・菅早野線(下麻生) ・尻手黒川線(Ⅳ期) ・東京丸子横浜線(市ノ坪) ・世田谷町田線(登戸、片平、上麻生) ・丸子中山茅ヶ崎線(小杉御殿町、蟻山坂) ・野川柿生線(久本、王禅寺) 	整備推進
京浜急行大師線連続立体交差事業 渋滞解消、踏切事故解消、環境改善等に向けた京急大師線の連続立体交差化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●段階的整備区間(小島新田駅から東門前駅間)の事業推進 ●段階的整備区間以降の整備に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●段階的整備区間(東門前駅～小島新田駅間)の事業推進 ・産業道路立体交差化の完成(2013年度) ●鈴木町駅～東門前駅間の整備に向けた取組の推進 ●第2期事業区間(別線区間)における関連事業等との調整 	取組の推進
JR南武線連続立体交差事業 渋滞や踏切事故の解消、環境改善等に向けたJR南武線の連続立体交差化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●連続立体交差事業の事業実施に向けた調査・検討及びJRや国、横浜市など関係機関との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ●連続立体交差事業の事業実施に向けた調査・検討及びJRや国、横浜市など関係機関との調整 	取組の推進

道路改良事業(国県道) 横浜生田(菅生)(2010年度完了)



整備前



整備後

街路整備事業 向ヶ丘遊園駅菅生線(東生田)(2009年度完了)



整備前



整備後